

九州とともに。グループの歴史

逆に、課題も出てきているはずですね

これまでの歴史の中で培ってきて、
これからの経営に活きる
キューデングループの強みって
何なのでしょう

よし、では
キューデングループの
歴史を少し振り返って
みよう

九州電力は高度経済成長期
以前の1951年に創業された

戦後の急激な経済成長による
電力不足に対応するため
私たちの先輩は頑張ったんだ

大型アーチ式ダムを備えた「上椎葉発電所」や
事業用地熱発電所「大岳発電所」など
日本初の革新的な電源の開発に
取り組んできたんですね！

上椎葉発電所

大岳発電所

石油危機からの立ち直りを目指して
政府が断行した通信改革を機に、
1987年には情報通信事業に参入

光ファイバーやIP電話
モバイル・インフラサービスの
充実に尽力したんだ

1990年代初頭のバブル崩壊後、国内電力需要の
成長鈍化や電力規制の段階的緩和などを受けて
海外にも事業を展開した

サレラ
地熱発電所
(インドネシア)

1999年に、海外でこれまでの経験を
活かした事業を行うキューデン・
インターナショナルを設立したんだ

近年では環境意識の高まりを受けて
再生可能エネルギー事業にも
より一層力を入れている

太陽光

バイオマス

長年の運転経験を持つ水力や
地熱に加えて太陽光や風力、
バイオマスなどの開発・運営に
取り組んでいるんだ

風力

地熱

水力

こうしてみると、
私たちはいろいろなことに
取り組んできたんですね

今ではこの街並みにも
キューデングループが
貢献しているし

九州の発展がグループの
歴史と言っても
過言ではありませんね